

平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年 月 日記入

基本目標	躍動し 魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	34140
政策名(章)	第4章 広域交流都市を形成します	評価担当部	都市部
基本施策名(節名)	第1節 魅力ある広域交流拠点の整備	評価担当課	都市交通計画課
施策名	広域交通ネットワークの整備	課長名	石川敏美

1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

にぎわいある中心市街地を形成し、様々な分野での他都市との交流や連携を深めるため、都市活動を支える鉄道、バス、道路等交通ネットワークの充実及び利便性の向上を図る。
また、広域交通網の充実を図るため、国、県及び関連機関に対する要望活動など整備促進に努めている。

2 事業費・人員

年度	平成14年度(決算)	平成17年度(決算)	増減の主な理由
事業費		222,996	橋本新町通り線や古淵麻溝台線などの都市計画道路の整備等が完了したため。
人件費		58,121	
市民一人あたりの事業費	4,537	422	
合計	2,794,855	281,117	

*人件費は、一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

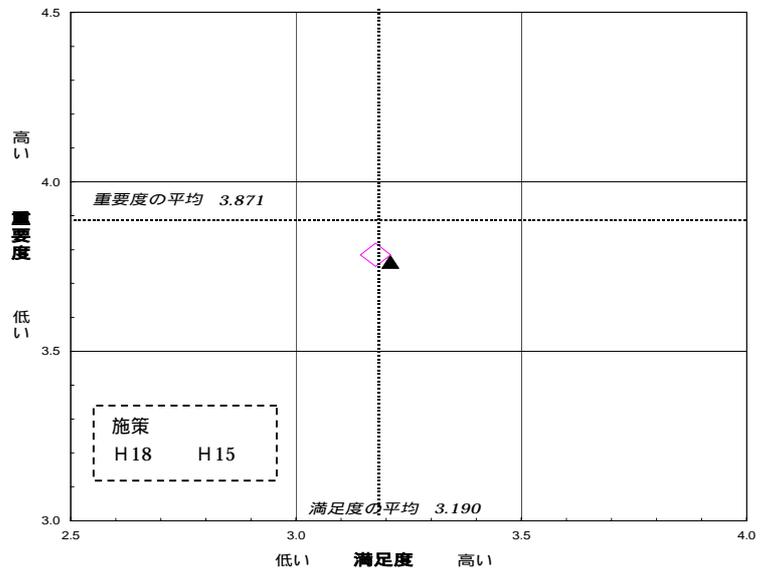
3 成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	基準値(単位)	基準年度
指標1	都市計画道路に係る用地購入事業の実施計画に対する達成度	実施用地取得面積 / 目標用地取得面積	143.70%	17
指標2	鉄道輸送力増進促進団体経費	要望事項に対する実現等実績割合 (実現・一部実現件数 + 前向き回答件数) / 要望件数 × 100(100%)	86%	17
指標3	バス乗り継ぎ施設整備事業	用地取得率(%)	35%	17
指標4				
指標5				

	H17目標値/実績値	中間年度	中間年度の目標値	最終年度	最終年度の目標値	目標値の考え方(根拠)
指標1 達成率	100 / 144 143.7	19	目標用地取得面積 13,314.79㎡	21	目標用地取得面積 7,774.75㎡	後期実施計画を根拠とする。
指標2 達成率	100 / 86 86.2	19	100	21	100	100%の実現・一部実現 + 前向き回答を目指すもの。
指標3 達成率	0 / 0 #DIV/0!	19	60	21	整備率50%	・用地取得H18～H20 (H20:取得率100%) ・整備H21～H22 (H22:整備率100%)
指標4 達成率	#DIV/0!					
指標5 達成率	#DIV/0!					

4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.176で51施策の中で25番目。
 重要度は3.784で29番目である。
 改善要望度は - 0.0520で27番目である。
 年齢別にみると、満足度は70歳以上でもっとも高く、40歳代でもっとも低くなっている。
 重要度は70歳以上でもっとも高く、30歳代でもっとも低くなっている。
 前回調査と比較すると、満足度は施策の順位に大きな違いはみられないが、重要度は上がっている。
 満足度の順位では、70歳以上で前回調査より大幅に上がり、50歳代で大幅に下がっている。
 重要度の順位では、70歳以上で大幅に上がっている。



5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	それぞれの視点に対して評価の具体的根拠	
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 1	各事業の達成率は80%~100%であり、目標どおりの成果をあげている。	
効率性	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	2 1	事業の投入コストが減少し、事業の効果が同程度である。	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2	平均値と比較して満足度は高く、重要度が低い。	
合計		7	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下)	1次評価 B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	新たな市民への啓発方法や整備促進方法等の検討。
解決策	市民ニーズの的確な把握に努め、目指すべき方向を見極める。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

事業の結果だけでなく、施策目的に適合した指標の設定を検討する必要がある。また、設定された指標の目標値の水準が甘く、高評価となっている。 今後は、市民ニーズの把握に努め、より効果的な事業の推進に努めるべきである。	2次評価 B
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価
--	------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

広域交通ネットワークの整備

コード

34140

構成事務事業一覧

構成事務事業	事務事業 担当課	H15施策 の 優先順位	H15人員 (人)	H14決算額 (千円)	H18施策 の 優先順位	H17人員 (人)	H17人件費 (千円)	H17事業費決 算額(千円)	H17決算額 (千円)
リニア中央新幹線整備促進 事業(再)	都市交通計画課	再掲	0.07	1,767	3	0.07	564	263	827
相模原・大井町線延伸 及び国道413号整備促進協 議会(再)	国県道対策室	再掲		180			0		0
首都圏中央連絡道路建設 促進期成同盟会(再)	国県道対策室	再掲		80			0		0
相模原-町田広域交通計画 連絡調整会議等負担金	都市交通計画課	再掲	0.30	2,817			0		0
相模線複線化等促進期成 同盟会負担金(再)	都市交通計画課	4	0.30	2,617	1	0.30	2,415	100	2,515
鉄道輸送力増強促進団体 経費(再)	都市交通計画課	5	0.04	648	2	0.04	322	396	718
相模線複線化調査事業	都市交通計画課	再掲	0.40	5,400			0		0
バス交通対策推進事業(再)	都市交通計画課	1	0.08	4,786	4	0.08	644	6,543	7,187
バス活性化事業(再)	都市交通計画課	2	0.03	4,327	5	0.03	242	4,860	5,102
コミュニティバス運行事業 (再)	都市交通計画課				6	0.19	1,530	15,209	16,739
バス乗り継ぎ施設整備事 業(再)	都市交通計画課				7	0.11	886	8,589	9,475
新しい交通手段の導入計 画調査委託 新しい交通システム検討事	都市交通計画課	1	2.00	29,808	8	2.00	16,100	12,380	28,480
氷川小山線用地購入事業	道路整備課	再掲	1.00	271,674			0		0
橋本上溝線用地購入事業	道路整備課	再掲	0.00	13,142			0		0
古淵麻溝台線用地購入事 業	道路整備課	再掲	1.00	167,910			0		0
古淵麻溝台線道路改良事 業	道路整備課	再掲	0.50	21,115			0		0
相模大野線用地購入事業 (再)	道路整備課	再掲	1.00	495,317	10	0.20	1,610	2,780	4,390
相模大野線道路改良工事 (再)	道路整備課	再掲	0.50	34,442	11	0.20	1,610	23,691	25,301
淵野辺山王線用地購入事 業(再)	道路整備課				9	0.10	805	0	805
橋本北口線用地購入事業 (再)	道路整備課				13	2.00	16,100	76,988	93,088
下九沢淵野辺線道路改良 事業(再)	道路整備課				16	0.20	1,610	13,578	15,188
下九沢淵野辺線用地購入 事業(再)	道路整備課				15	0.80	6,440	21,087	27,527
相原大沢線用地購入事業 (再)	道路整備課				12	0.10	805	0	805
町田南大野線道路改良事 業(再)	道路整備課				14	0.80	6,440	36,532	42,972
淵野辺駅上矢部線道路用 地購入事業	道路整備課	再掲	0.00	44,193			0		0
淵野辺駅上矢部線道路改 良事業	道路整備課	再掲	1.00	21,139			0		0
嶽之内当麻線整備事業	道路整備課	再掲	0.90	254,846			0		0
橋本新町通り線用地購入事 業	道路整備課	再掲	1.00	1,385,283			0		0
橋本新町通り線道路改良事 業	道路整備課	再掲	0.50	33,364			0		0
							0		0
計			10.62	2,794,855		7.22	58,121	222,996	281,117
合計			10.62	2,794,855		7.22	58,121	222,996	281,117

